

会 議 録

会 議 名	令和4年度第1回小金井市市民協働推進委員会		
事 務 局	市民部 コミュニティ文化課		
開 催 日 時	令和4年7月19日(火) 18時30分～19時42分		
開 催 場 所	第五会議室		
出 席 委 員	田中敬文 委員長 邦永洋子 副委員長 橋本 修 委員 森田眞希 委員 熊谷紀良 委員 西田 剛 委員		
欠 席 委 員	な し		
事 務 局 員	1 小金井市 市長 西岡真一郎 コミュニティ文化課長 河田京子 コミュニティ文化課文化推進係長 岡本和晃 コミュニティ文化課文化推進係主任 津端友佳理 2 小金井市市民協働支援センター準備室 三崎 市民協働推進員 北脇 市民協働推進員		
傍 聴 の 可 否	一部不可		
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由	協働事業提案制度に関 する議題のため	傍聴者 数	0人
会 議 次 第	(1) 依頼状の交付 (2) 自己紹介 (3) 委員長・副委員長の互選 (4) 会議運営について (5) 会議録について (6) 協働事業提案制度について (7) 今年度の委員会の開催について (8) その他		
会 議 結 果	別紙のとおり		
会 議 要 旨	別紙のとおり		
提 出 資 料	(1) 様式第2号(第6条関係)事業計画書 (2) 協働事業提案制度の改正について (3) 市民参加条例第27条第1項の規定に基づく提言に対する市長の意見について		

【事務局】 皆様、こんばんは。

委員長が選出されるまでの間、事務局が進行させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、開会に先立ちまして、依頼状の交付を行います。

西岡市長より依頼状の交付と一言御挨拶をよろしくお願いいたします。

【西岡市長】 依頼状。橋本修様。小金井市における市民協働のさらなる推進を図るため、小金井市市民協働推進委員として御協力いただきますようお願いいたします。

任期、令和4年4月1日から令和6年3月31日まで。

令和4年4月1日。小金井市長、西岡真一郎。

どうぞよろしくお願いいたします。

【橋本委員】 どうもありがとうございます。

【西岡市長】 依頼状。森田真希様。以下、同文でございます。小金井市長、西岡真一郎。

よろしくお願いいたします。

【森田委員】 よろしくをお願いいたします。

【西岡市長】 依頼状。田中敬文様。以下、同文でございます。小金井市長、西岡真一郎。

よろしくお願いいたします。

依頼状。邦永洋子様。以下、同文でございます。小金井市長、西岡真一郎。

お世話になります。よろしくお願いいたします。

【邦永委員】 よろしくをお願いいたします。

【西岡市長】 依頼状。熊谷紀良様。以下、同文でございます。小金井市長、西岡真一郎。

お世話になります。よろしくお願いいたします。

皆様、こんばんは。小金井市長の西岡真一郎でございます。本日は大変お忙しい中、令和4年度第1回市民協働推進委員会に御出席を賜りまして誠にありがとうございます。ただいま依頼状を交付させていただきました。今回、小金井市の市民協働推進委員会委員をお引き受けいただきましたこと、心から御礼と感謝を申し上げます。皆様、何とぞ、任期期間中、どうぞよろしくお願いいたします。

今年度は、協働事業提案制度、これは私が市長に就任した翌年から初めてスタートしたんですが、この提案制度を開始してから7年目を迎えております。今後は、まずはこの協働事業提案制度の充実を図り、さらに（仮称）新福祉会館の施設内に市民協働支援センターを設置する予定ともなっております。協働の推進は小金井市の重要な課題となっております。

去る3月28日には小金井市の第5次基本構想・前期基本計画という小金井市の最上位計画、最も上位にある重要な計画を策定したばかりでございます。3月28日、令和4年第1回小金井市議会定例会本会議最終日に御議決を賜りました。この第5次基本構想「いかそうみどり 増やそう笑顔 つなごう人の輪 小金井市」というのが新たなスローガンとなっておりますが、この中に幾つもの柱がございます。そのうちの一つが参加と協働を推進するというところであります。

正直、協働の分野に関して申し上げれば、市長としては、小金井市はまだまださらなる努力が求められている分野だと私は考えております。その上では、本日、依頼状を交付させていただきました協働推進委員会の皆様方からの様々な御指摘や御意見、御議論というものを大切にしていきたいと思います。

これから、私たち小金井市がこの協働を進めていく上で忌憚のない様々な御意見を、時には厳しい御指摘もあろうかと思いますが、どうぞお寄せいただきたいと思っております。

参加と協働は、向こう10年間の本市の第5次基本構想の、改めて申し上げますが、大切な柱の一つとなっております。この間、市の職員のメンバーもいろいろな経験をさせていただいております。例えば若手職員、入庁10年未満の職員には、幾つものNPOの方々に御協力をいただいて職員派遣制度を行わせていただいております。その派遣を通じてNPOの皆様方とどのような連携を取っているのか、また、NPOの皆様方がどのような点に苦労しながら活動しているのか、こういったことを若い職員の皆様方に、必ず入庁10年以内に研修に参加をするように心がけておまして、そういう経験を積ませていただいておりますが、しかし、先ほど申し上げましたように小金井市はさらなる努力が求められていると、市長としては感じているところでございますので、どうかよろしく願いいたします。

これから皆様方と一緒に本市の協働事業を推進してまいりたいと考えておりますので、ここ2年間、どうぞよろしく願いいたします。

**【事務局】** ありがとうございます。

本日、市長は公務のため、申し訳ございませんが、ここで退席させていただきます。

**【西岡市長】** 失礼します。今、ちょうど第7波ということで、少し緊張状態がまた始まっておりますが、どうぞ皆様くれぐれも御健康には御留意いただきまして、お過ごしいただきたいと思っております。

また、本委員会も、コロナ対策、様々な創意工夫をしながら、皆様の御意見もいただきながら運営してまいりたいと思っております。よろしく願いいたします。

**【事務局】** それでは、着座にて失礼いたします。

次に、本日の配付資料をお伝えします。会議資料は、次第を除いて合計3点となります。

まず、資料1事業計画書と記載があるもの、資料2が左上に協働とは記載があるもの、資料3が市民参加条例第27条第1項の規定に基づく提言に対する市長の意見についてと記載されているものとなります。

以上3点、お手元がない方、また不備不足等がございましたらお申しつけください。よろしいでしょうか。

それでは、初めての方もいらっしゃいますので、自己紹介をお願いできればと思います。本日、議事内容が詰まっておりますので、申し訳ございませんがお一人1分程度でお願いします。よろしく願いいたします。

それでは、橋本さんからよろしいでしょうか。

**【橋本委員】** 橋本と申します。2月ぐらいですか、市民からということで公募させていただいて、何倍かちょっと分かりませんが、選出していただいたということで、頑張っていきたいと思っております。

もともと理工学部の教員を30年近くやっているわけですがけれども、その中ではベンチャー企業の立ち上げとか、環境安全センターの立ち上げとか、そういうこともやらせていただいたり、今もそうですけれども、総務省などの評価委員を少しやらせていただいているので、そういう知見などもこの会議の中でお役に立てて頂ければと思います応募させていただきました。

ということで、これから2年間となりますけれども、よろしくお願いします。

【事務局】 では、森田委員。

【森田委員】 森田眞希と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

小金井市で赤ちゃんから高齢者のための共生型の施設を運営しております。NPO法人地域の寄り合い所また明日という施設です。

どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】 田中委員。

【田中委員】 田中敬文と申します。東京学芸大学教育学部に所属しています。大学では生活科学講座、家庭科教室というところにおります。専攻の公共経済学、公共政策として、実は今から30年近く前に「非営利団体の経済分析」という本を出版させていただきましたことがあります。それは翻訳だったんですが、出したときに、非営利団体って何ですかというふうに散々聞かれて、説明するだけで大変だったなと思いました。でも、今、非営利組織とかNPOといったら、近所の小学生もNPOの車だということがすぐ分かる。ですから、30年間で随分変わったということです。法律もできましたし、各自治体で条例もありますし、優遇税制から、いろんなものを今やっていますので、これからNPO、NGOもあって当たり前、むしろないと困るということをしちんと世の中の人に認識していただければいいなと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】 邦永さん、お願いします。

【邦永委員】 NPO法人こがねい子ども遊パークの邦永です。私どもの法人は、小金井市のプレーパーク委託事業を受けています。そのほかに、子供の自然体験や野外保育などの事業、こどものまち事業などもしております。今回はNPO法人連絡会のほうの御推薦でこちらに参りました。どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】 熊谷さん、お願いします。

【熊谷委員】 東京ボランティア・市民活動センターの熊谷と申します。飯田橋のほうにセンターがございますけれども、東京都内、各地域の中間支援、ボランティア市民活動推進をしている、そういった団体と一緒にこういった活動をより進めていく、そして、その中で行政と行政以外のところとも協働を進めていくために、いろんなところにお邪魔しながら私どもも一緒に考えるという役割でもってやっております。

コロナでいろんなところが活動を、非常に大変な状況になってはいますがけれども、実は今日も話していたんですけれども、またこういった大変な状況を、今、第7波が出てはいますがけれども、ただ、やっぱりここまできた経験が活動、それから活動を進める、応援する側も経験を得てきている分だけ強く進める部分がきっとあるんじゃないかなということをお願いしながらお互い励ましておりました。そんなところで、御一緒に、こ

の状況の中でも協働を進めていける、そういったことを考えていければと思っております。よろしくお願いいたします。

【事務局】 西田さん、お願いします。

【西田委員】 小金井市市民部の西田です。協働を担当する部署、コミュニティ文化課の所掌、部長ということで参加させていただいております。

さっきの市長の挨拶で、市長としては、協働の分野、小金井市はまだまだ努力が足りない、さらに努力をするべきだという挨拶がありましたので、事務局共々プレッシャーをかけられたところでございます。このプレッシャーに負けることなく、コロナ禍でありますけれども、新機軸を打ち出して、さらに協働を発展、ボランティアセンターの皆様と一緒に活動を進化させていただければありがたいなと思っております。

今日、資料2で、新機軸ということで説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

【事務局】 ありがとうございます。

それでは、次に事務局を紹介させていただきます。

コミュニティ文化課課長の河田と申します。2年目になります。どうぞよろしくお願いいたします、プレッシャーに負けないように。

【事務局】 皆さん、こんばんは。コミュニティ文化課の岡本です。今年度は私から事務的な連絡をさせていただきます。今回も皆さんにメールを送りましたが、次回も皆さんに連絡をして、日程調整などをさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

【事務局】 同じくコミュニティ文化課の津端です。今回、主担当は岡本さんで、私のほうはサブで入っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】 三崎と申します。主に相談業務をさせていただいております。もうしばらくはNPOの派遣研修のコーディネーターですが、提案制度の御相談もしております。日々、NPOさんに学ばせていただきながら、仲人をやっていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

【事務局】 北脇と申します。三崎と同じく市民協働支援センター準備室をしております。三崎よりは勤務時間が短いんですが、小回りは効きますので、何でもお申しつけください。よろしくお願いいたします。

【事務局】 ありがとうございます。

次に、次第の3番へ進みます。委員長・副委員長の互選を行います。

初めに、委員長の互選を行います。委員長に立候補される方、また併せてどなたか御推薦される方がいらっしゃいましたら挙手をお願いいたします。

【西田委員】 田中委員にお願いしたいと思います。(拍手)

【事務局】 ただいま西田委員から田中委員を推薦されました。委員長に田中委員を選出することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【事務局】 田中委員を委員長とすることに決定いたしました。

では、田中委員長から御挨拶をお願いいたします。

【田中委員長】 田中です。どうぞよろしくお願いいたします。

私、この会議、1期2年とすると、3期ぐらいやっているんですが、いろいろ経験させていただきました。委員の皆様もお気づきだと思いますが、どうしても同じような団体が応募してくるといのは、どの自治体でもあるかなと思います。もちろん同じ団体であっても、新しい発想で新しい事業に取り組むことも重要だと思いますが、私はできれば新しい団体が発掘できるといいなと思っておりますので、委員の皆様もぜひ御協力をお願いできればと思います。どうぞよろしく願いいたします。

【事務局】 ありがとうございます。

それでは、これからの議事は委員長をお願いしたいと思います。恐縮ですが、席はそのまま、引き続きよろしく願いいたします。

【田中委員長】 次に、副委員長の互選を行います。

副委員長の役割は、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、副委員長がその職務を代理するということになります。副委員長に立候補される方、また併せてどなたか御推薦される方がいらっしゃいましたら挙手をお願いいたします。

【熊谷委員】 推薦したいんですが、よろしいですか。邦永委員にお願いできればと思います。ぜひ協働を進めていく上でもお願いできればというふうに思いました。

(拍手)

【田中委員長】 副委員長に邦永委員を選出することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【田中委員長】 それでは、邦永委員を副委員長とすることに決定いたしました。

では、邦永委員から御挨拶を。

【邦永副委員長】 ただいま副委員長に御推薦いただき、決まりました邦永でございます。NPOの代表をしまして、協働のことはこれから本当に進めていかなくちゃいけないとともに、私がここにいるときにどうしても実現したいなと思うのが、子供の意見表明として、協働事業の中にも子供が入っていけるようなことができるいいなと思っています。まだまだ未熟ですが、どうぞよろしく願いいたします。

【田中委員長】 どうもありがとうございます。どうぞよろしく願いいたします。

続きまして、4番、会議運営についてです。

まずは事務局から資料を基に御説明をお願いいたします。

【事務局】 今後の会議の運営について、2点ほどございます。

まず1点目、今後の会議の主な内容についてですが、本委員会の所掌事項は、次の3点について協議していただくことになっております。1、協働施策の推進に関すること。2、協働事業提案制度に関すること。3、その他協働に関すること。その中でも現時点では、協働事業提案制度について、主に審査に御協力いただいております。本制度につきましては、後ほど次第6で御説明させていただきます。

また、今後は市民協働支援センターの開設や他の協働に関する事項についても御協議いただくことを想定しておりますので、よろしく願いいたします。

次に、会議の傍聴等についてです。

本委員会は、原則傍聴を可能とする公開の会議としておりますが、先ほど触れまし

た協働事業提案制度の選考等に関わる会議を開催する場合には非公開とさせていただきたく、この件についてあらかじめ委員会でお諮りいただきたいと思います。

以上です。

【田中委員長】 どうもありがとうございます。

これまでの御説明につきまして、何か質問や御意見はありますでしょうか。

それでは、協働事業提案制度の選考に関わる会議について、非公開の取扱いとすることに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【田中委員長】 ありがとうございます。

それでは、選考に関わる会議につきましては、非公開の取扱いとすることに決定いたしました。どうもありがとうございます。

続きまして、次第5番の会議録についてです。資料によりまして、事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】 会議録について、2点ほどございます。

まず1点目として、会議録の基本方針です。本委員会の会議録は、発言者名と発言内容全文を記載したものを作成させていただき、ホームページ等で公開をさせていただきたいと考えております。この件につきまして、委員会でお諮りいただきたいと思います。

次に、作成の流れでございますが、公開前に委員の皆様へ校正をお願いしまして、その後、公開・非公開とする箇所も含め、委員長と事務局で協議の上、会議録を確定させていただきたいと思っております。この件につきまして、あらかじめ委員会でお諮りいただきたいと思います。

以上です。

【田中委員長】 御説明、どうもありがとうございます。

これまでの説明について、何か質問や御意見はございますでしょうか。

それでは、順番にお諮りいたします。2点あります。

まず、会議録についてです。会議録につきまして、発言者名と発言内容全文を記載し、公開することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【田中委員長】 異議がないようですので、そのとおり決定いたしました。

次に、会議録作成の流れについてです。作成の流れにつきまして、委員の皆様から校正をお願いした後、委員長である私と事務局に会議録の確定について御一任いただくことに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【田中委員長】 異議がないようですので、そのとおり決定いたしました。どうもありがとうございます。

それでは、次は6番です。いよいよメインのところですが、協働事業提案制度についてです。

まずは、令和4年度実施の協働事業提案制度の進捗状況と今後の制度改正について事務局から説明していただきます。

ここからは協働事業提案制度の選考等に関する議題となりますことから、会議は非公開とさせていただきます。よろしいですか。

それでは、事務局から協働事業提案制度の説明をお願いいたします。

ここから、協働事業提案制度の内容にかかると非公開

— 了 —